

計画調整部会 審議結果

平成 1 0 年 1 1 月 9 日
宇宙開発委員会計画調整部会

1. 地球観測・地球科学の分野

(1) 情報収集衛星に関する研究

ア. 審議事項

安全保障、危機管理等を目的として、高性能の光学センサ及び合成開口レーダーを搭載し、大容量のデータ伝送を行う情報収集衛星に関する研究に早急に着手したい。

イ. 審議結果

衛星を利用して我が国の安全等に資する画像情報を収集する意義は理解できる。また、高性能の光学センサ技術、合成開口レーダー技術及びバス技術を研究することは、我が国の宇宙開発の推進の観点からも重要である。

従って、情報収集衛星に関する研究に速やかに着手することは妥当である。

ウ. 留意事項

本研究の推進にあたっては、陸域観測技術衛星（ALOS）の開発・試験等の結果を適宜反映させるとともに、本衛星には高い信頼性が求められることから、審査体制及び品質管理体制の強化、地上試験等の充実について十分留意することが必要である。

また、本衛星計画を実施するためには、通常の技術試験衛星等の開発計画よりも多量の研究開発資源（人材、予算）の投入が見込まれており、本衛星計画の実施に伴い他の宇宙開発計画に支障をきたさないよう特別な配慮が必要である。

さらに、本衛星からの貴重なデータを有効に利用していくためには、組織的にも技術的にも堅固な利用・運用体制を構築していくことが必要である。